

Smile Network 北東

2020春 第5号

‘協議体’ってなんだろう？

第2層生活支援コーディネーターとして2年目となります。生活支援コーディネーターには、地域の話し合いの場づくりや地域の人々をつなげる役割があります。1年目は、既に活動をされているところにお邪魔させていただき、皆さんの笑顔から元気をいただきました。温かく仲間に入れていただき、本当にありがとうございます。

いろいろな方とお会いする中で、自分や家族の困りごと、身近で見かけた光景、それぞれの立場からの思いなどお話を伺う機会がありました。



伺ったお話の例

- 「車や自転車に乗れず、お買い物が不便なのよ」
- 「足が悪い奥さんが、旦那さんのお見舞いに行く姿が心配」
- 「若いもんがないと電球換えるのも一苦労」
- 「いつでも声かけて、と言うけど、遠慮されてしまう」
- 「認知症っぽい人を見かけるけど、大丈夫かな？」
- 「同じ病気の人と出会える場はないかしら？」
- 「介護保険から卒業できそうだけど、体操できそうな場はあるのかな？」
- 「いつまでもみんな楽しく集まりたいね」

『協議体』とは、支えあいの地域づくりについて検討する場です。第1層は全市的な課題を、そして第2層協議体は身近な地域単位での課題を検討する場です。

感染症の状況が落ち着くまでは、集まって話し合う場を持つことは難しいですが、サロンや、体操、あるいは自治会や長寿会が再開したら、日頃感じていることを皆さんで共有してみませんか？

自分の心配ごとは、他の人にとっても気がかりかもしれません。あるいは、自分が楽しんで行うことが、他の人にとっては何か手助けになるかもしれません。

こんな話どこで聞いてもらおうかしら、地域づくり勉強会に参加してみたい、地域で開催してほしい、そんなときにはお気軽にお声がけください。